

# 平成24年度学力向上に向けた取組

函館市立

中の沢小学校

学級数

14

## 視点1：アプローチの視点に基づいた、「組織的」で「つながり」（学びの連続性・学校内外の連携）をもった取組

重点教育目標

思いやりをもち たくましく すすんで学ぶ子（平成23年4月改訂）

A 各教科・領域等における系統性や、他の教科・領域等との関連に配慮する

B 長期的な見通しをもって、学習内容を確実に定着させる

C 校内研究の進め方を見直す

D 授業公開や外部への公開・発信を生かす

### 取組の概要

#### ～ 年間指導計画の改善 ～

##### 1 取組のきっかけ

昨年度、各教科・領域の年間指導計画を実施する中で、単元・内容の配列や扱い時数などで計画と実施に差が大きい部分があるという反省があり、今年度見直すこととした。また、経営重点にあげられている一人一人のよさを生かした確かな学力の定着を図り、自主的・自発的な学びにつなげるために、指導内容・方法の工夫改善に努める必要があると考えた。

##### 2 取組の位置付け

特別委員会として設置している教育課程検討委員会で検討、改善充実に努めている。（委員会は管理職・教務・各学年代表で構成）

##### 3 取組の方法

年間指導計画を見直すねらいとして次の2点をおさえ、全体に提案をしている。

- ◎ 考察や指導の結果などを朱書きして、次年度への改訂材料とする。
  - ◎ 実施した単元・内容について指導事項の定着状況を振り返り、より定着を図る必要がある内容について工夫・改善の具体化を検討する。
- また、具体的に見直す際は、以下のポイントで検討を加えるようにしている。

- |                  |                       |
|------------------|-----------------------|
| ① 指導時期（単元・内容の配列） | ② 指導内容の軽重（重点的な指導事項）   |
| ③ 他教科・学校行事との関連   | ④ 必要とされる教材・教具         |
| ⑤ 外部人材・施設の活用例    | ⑥ 言語活動の具体例（取り組んだ例等など） |

これらを各学年団の打合せ時に検討するようしてきた。

### 取組の成果と課題等

#### ○ 取組の成果

- ・ 年度当初に、年間指導計画の見直しについて提案、学年打合せの時間を活用して朱書きを進めてきた。  
（成果）→ 学年打合せでポイントを絞って話し合い、改善に向けた記述を行う様子が見られるようになった。
- （成果）→ 教材・教具の事前準備などを含めて、見通しをもち、計画的な実践や計画の見直しが行われるようになった。
- ・ 学期末に再度、進度や内容を見直し、見直すポイントに基づいて年間指導計画への朱書きをするよう進めてきた。  
（成果）→ 次の学期の学習内容について見通しをもって準備する様子が見られ、また必要な教具・教材の準備を進めることができた。
- （成果）→ その学期においてより定着を図る内容について、学年内で共通理解し、次の学期の学習計画に意識的に位置付けようとした。

#### ○ 教育課程検証の方法

- ・ 学校評価（自己評価・保護者）と児童へのアンケートについては、2学期末に文言等を学校評価委員会で検討、2学期末の職員会議で提案した。
- ・ その後、集計し、方向性・改善策などについて、評価委員会、各分掌で検討し、学校評価会議で教職員全体で共通理解を図った。そして、次年度に反映していく。